

# 公明党視察報告

2023年7月26日～28日

参加者 兵道顕司  
長沢達也  
堀とめほ

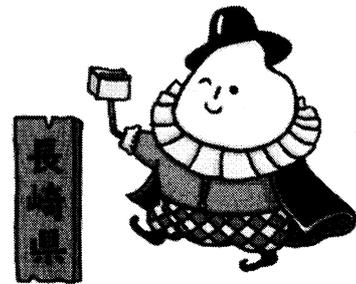
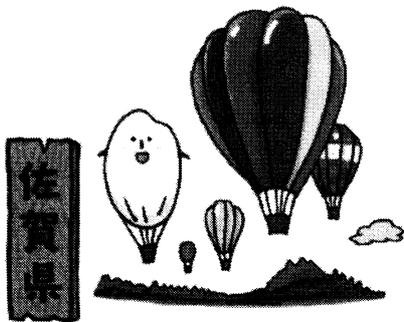
記録・報告 堀とめほ

● 〈視察先〉 佐賀県 佐賀市・武雄市 長崎県 長崎市

● 〈研修内容〉 7月26日(水) 佐賀県庁「アピアランスケア支援事業」  
について

7月27日(木) 武雄市図書館 市民の生活をより豊かに  
する図書館運営について  
長崎市役所 新庁舎の機能・維持と  
給水スポットについて

● 7月28日(金) 長崎原爆資料館/長崎平和公園の視察



## 1 日目) 佐賀県 がん患者アピアランスケア支援事業

### ◇事業実施までの経過

県内 4 市町が既に導入しており、それ以外の市町では助成を受けることが出来なかった事や県内の診療連携拠点病院内の相談センターへ助成を要望する声が多いことから全県下での実施に至った。(全 20 市町で実施。市町によっては助成額の上乗せや 2 万円を下回る場合の自己負担をなしにしているところもある。)

### ◇事業の概要

・事業目的…がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の向上に繋がるよう外見の悩みや経済的負担を軽減することを目的とする。

・事業内容…対象経費＝医療用ウィッグ、乳房補正具の購入費(年度が変われば再申請でき、毎年度助成が受けられる。)

補助方法＝間接補助(補助率→県 1/4、市町 1/4 合計 2 万円上限)

◇事業の効果 利用者からは「制度ができて助かる」「毎年申請出来て助かる」との声が多く寄せられている。

◇今後の見通し 令和 4 年度から実施している為、今後複数年の申請実績や課題を精査し、県民及び市町担当者からの意見等をもとに事業の拡充に努めていく。

### ◇感想…

県と市町とで連携して実施している点が、市町単独で行う場合より財政負担の面からも取り組みやすく、県内どこでも助成が受けられるため公平性の面からも非常に評価できる事業だと実感した。

本市でも山梨県と連携し今年度からの実施に至ったことは、当事者、ご家族の要望を粘り強く推進してきた我が会派として大変喜ばしい事と受け止めている。

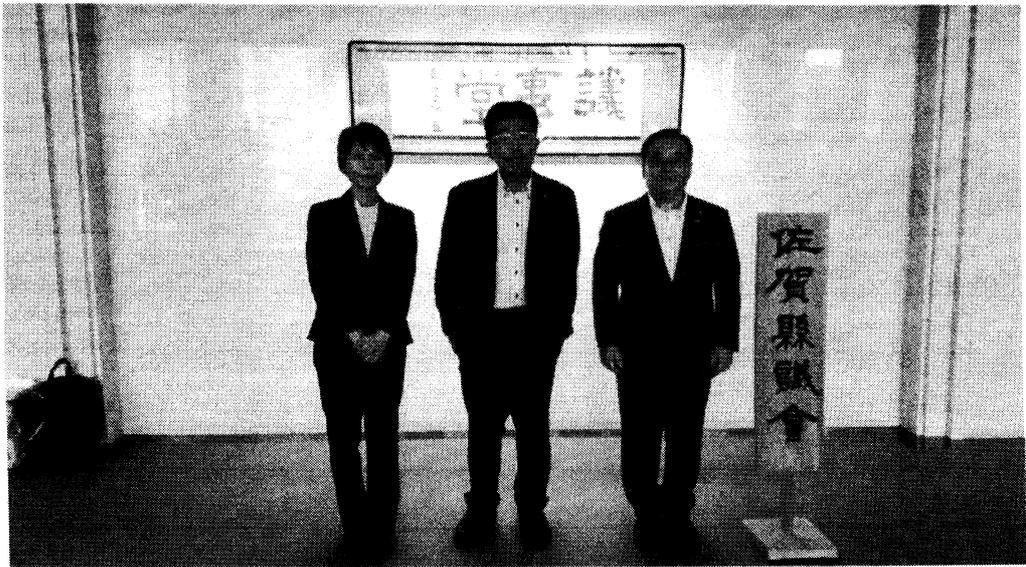
### ◇その他…

未来に向けた胃がん対策として、県内中学 3 年生全員を対象にピロリ菌の検査・除菌を全額県負担で実施している。(中学校の尿検査の残りの尿を使って検査。保護者の同意を得て実施。)

小児がん等の患者とその家族の交通費の支援も実施。(やむなく遠方の医療機関での入院治療が必要な患者と付き添いの保護者、兄弟姉妹の交通費を助成。)この取り組みについては実施自治体が非常に少ないと思われるが、当事者、ご家族に寄り添う素晴らしい取り組みだと思う。

長崎県のがん撲滅、県民の命を何としても守ろうとする信念が感じられ、がん対策についての学びを深めることができた。今後の本市のがん対策に活かしていきたい。

佐賀県庁での研修の様子



## 2 日目①)

## 佐賀県 武雄市図書館

### ◇これまでの経緯

平成 12 年に武雄市立図書館がオープンしたが、来館者数の伸び悩み、利用者の固定化により一部の人だけの図書館となっていた為、魅力・ワクワク感のある図書館を目指し、図書館をまちづくりのエンジンにすることを目指す。→(地域コミュニティ、情報の拠点、新たな発見に繋がる場所、やりがい、生きがいなど)

### ◇新図書館構想

指定管理者(※CCC)と連携し、いつでも利用できる居心地のいい図書館の実現。  
武雄市×指定管理者(※CCC:カルチャー、コンビニエンス、クラブ)

### ◇リニューアルオープンまでの経緯 →資料③の 12 参照

市民の豊かな生活を実現するための中核施設として武雄市図書館・歴史資料館をより市民価値の高い施設として運営するにあたり、CCC が運営する TSUTAYA のコンセプトやノウハウを導入しており、これまでの市立図書館のイメージを大きく変えた空間となっている。平成 29 年には「この武雄で子育てしたい」と思ってもらえる街を目指し、子育て応援機能と子ども中心に多世代が交流できる機能を併せ持った子ども図書館もオープン。学校や保育施設、高齢者福祉施設、病院への配本、出前講座サービスなども精力的に行っている。

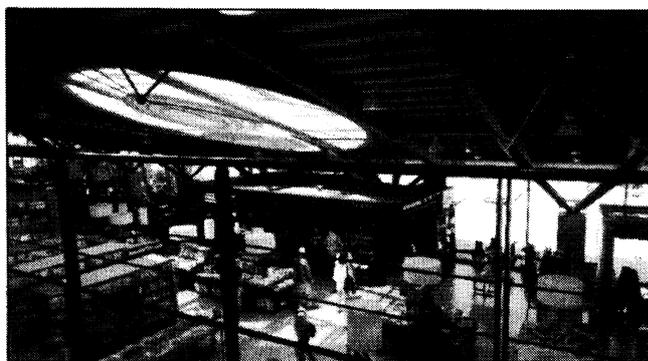
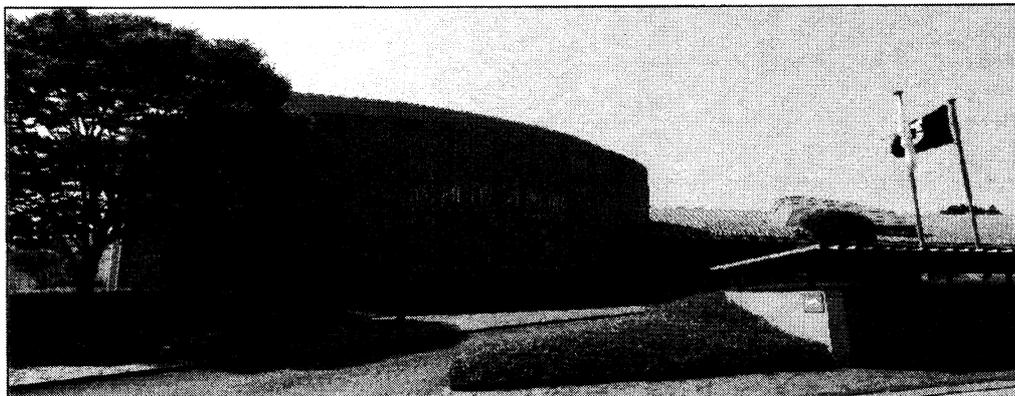
### ◇効果

30 代 40 代の利用者も増加している。  
指定管理料も直営の場合と比較すると減額している。

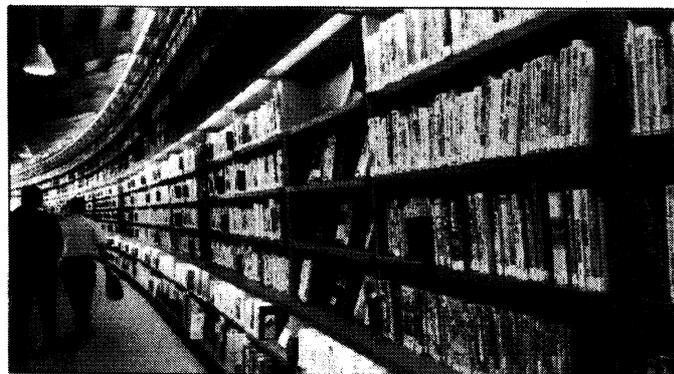
### ◇感想

指定管理運営のメリットが多い事例を学ぶことが出来た。本市の場合は図書館を指定管理にするのはにわかに考え難いと思う。しかし、地域コミュニティ、情報拠点、新たな発見に繋がる場を目指すことは必要ではないかと考える。  
既存の資源をもっと市民に周知したり、イベントの充実を更に図ったり、利用しやすい取り組みを実施していくべきと考える。現在の課題に向き合いながら、より市民に役立つ図書館づくりに繋げていきたい。

佐賀県 武雄市図書館の様子



子ども図書館



## 2日目②) 長崎市役所 新庁舎の機能・維持/給水スポット

### ◇これまでの経緯

長崎市役所は 1959 年に長崎市桜町に建設されたが、老朽化のため平成 3 年度から新庁舎建設に向けての基金を設置。

平成 21 年の耐震化診断の結果、大規模地震に耐えられない事が判明。

平成 23 年 2 月「庁舎を建て替える」ことを耐震化の方針とした。→大型公共施設の整備方針 資料参照 P3

市民からも広く意見を聴き、市議会の意見を踏まえる中、平成 29 年度に基本設計、

平成 30 年度に実施設計、令和元年～令和 4 年建設工事を経て完成に至る。

地上 19 階、地下 1 階建て 市内に分散している 9 庁舎を 1 棟に集約。資料参照 P7

### ◇財源

基金 160 億円 国庫補助金 48 億円 上下水道局負担 27 億円

今後の財政負担 29 億円(総事業費の 1/10) 合計約 264 億円

### ◆給水スポットについて

新庁舎の 15, 16 階に上下水道局が配置され、庁舎のコンセプトの 1 つ「人と環境にやさしい庁舎」として 1 階に給水スポットを設置している。

その他、あぐりの丘(子ども遊戯施設)にも設置されている。

### ◇設置までの経緯

水道水の安全性があまり周知されておらず、蛇口から直接飲めることを知らない市民も多かった為水の PR 活動を推進。

2021 年「ゼロカーボンティーながさき宣言」達成に向けペットボトル水道水を廃止し、給水スポット設置を進め、おいしい水の PR を推進している。

(市役所設置より半年で 3 万 8 千回の利用数)

### ◇感想

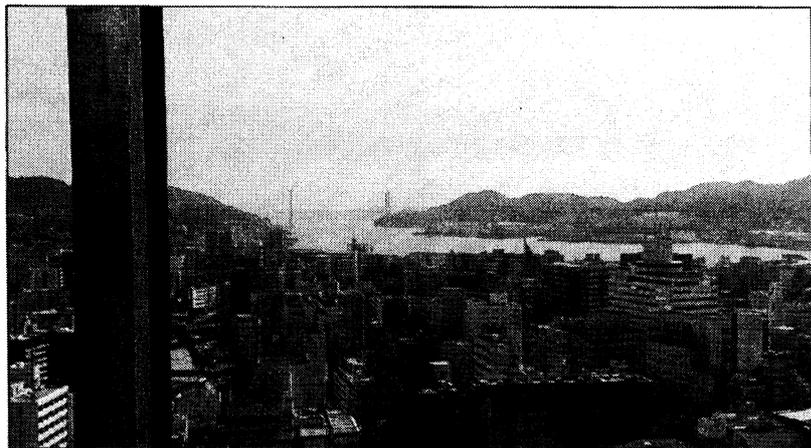
19 階建ての庁舎の迫りに圧倒された。

中に入るとすぐ給水スポットに人の列。職員の方、来庁された市民の方、皆が当たり前のように水を汲んでいる姿に癒される思いがした。

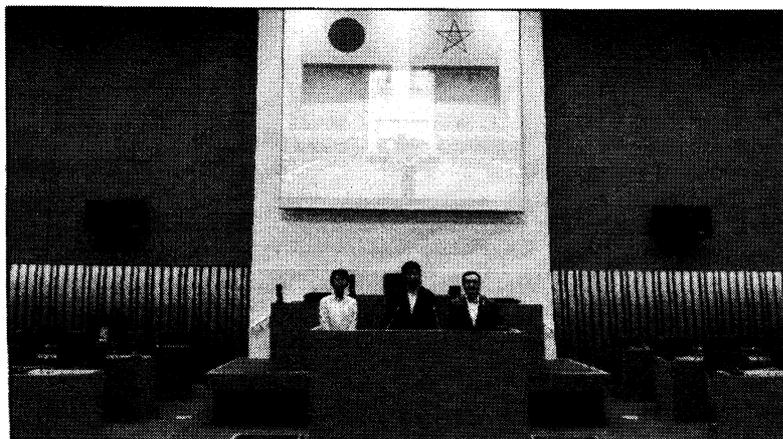
庁舎内は明るく開放的な印象だった。7 階から 18 階にかけて市長室、危機管理室、執務室の一部を配置し、有事の際にも連携がすぐに取りれる体制となっている等、災害時に対応する為の緻密な計画のもとに設計された庁舎であることが丁寧な説明から理解できた。(資料参照)

給水スポットについては今後も水飲み場を替えるタイミングで増設するとのことで、本市も甲府のおいしい水のアピールとペットボトル削減、熱中症予防を推進する為、給水スポットの更なる設置に向け取り組んでいきたい。

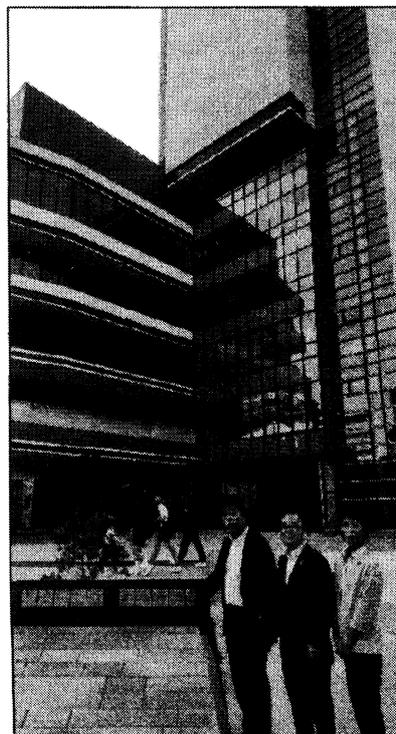
# 長崎市役所の様子



19階からの眺め



議場にて



3 日目)

## 長崎原爆資料館/長崎平和公園

### ◇長崎原爆資料館

平和案内人による説明を聞きながら館内を見学。

館内は 4 つのコーナーごとに

A 原爆投下前の長崎の街や風景、市民生活の展示

B 原爆による被害(原爆投下直後の長崎の街の惨状を再現)

C 核兵器のない世界(戦争と核兵器の問題や、平和について考える)

D ビデオルーム・Q&A コーナー(原爆映画等の上映、Q&A コーナー検索システム)

と、分かれていて、QR コードを読み取ると 11 か国語で展示解説を閲覧できる。

1982 年 6 月第 2 回国連軍縮特別総会が行われた際、ニューヨーク国連本部で「核兵器現代世界の脅威展」が開催され、同資料館の展示品が初めて出展されたことを、平和案内人の方が誇らしく語られていたのが印象的だった。

### ◇まとめ

1945 年 8 月 9 日。死者 73,884 人、負傷者 74,909 人という多くの人々の尊い命を奪い長崎の街のほとんどが破壊された原爆投下。原爆が投下されるに至った経過、核兵器開発の歴史を学び、被爆資料や被爆の惨状を示す写真等の展示品を目の当たりにし、核兵器廃絶への意志を更に強めるとともに、唯一の被爆国である我が国が、保有国非保有国の仲介に立ち核なき世界をリードしてかなければならないと痛感した。

本市は、1982 年(昭和 57 年)7 月 2 日「核兵器廃絶平和都市宣言」を行っており、宣言文に基づき市民意識の醸成を図る取り組みを全世代で進めていきたいと強く決意する。

## 長崎原爆資料館/長崎平和公園の様子

